

新潟県

平成20年8月13日
新潟県

コイヘルペスウイルス(KHV)病の検査結果について

8月11日に県の1次検査でKHV陽性であった南魚沼市の個人池1軒におけるコイは、8月13日独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所で、KHV陽性と確定されました。

確定検査結果

1箇所（南魚沼市） 2検体中 2検体で陽性（マゴイ2尾）

担当

新潟県農林水産部水産課

025-280-5315

平成20年8月13日

連絡先
農水商工部水産資源室
室長 紀平正人
水産振興グループ
担当者 林
電話 059-224-2584

資料提供について

1 報告事項

コイヘルペスウイルス病でへい死したマゴイの発見（四日市市水沢町字四ツ谷町地内 鈴鹿川水系足見川）について

2 要 旨

四日市市水沢町字四ツ谷町地内を流れる鈴鹿川水系足見川で発見されたマゴイへい死魚について、県水産研究所でコイヘルペスウイルス（KHV）の検査を行ったところ、8月11日に一次陽性反応を確認したため、独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所に確定診断を依頼した結果、8月13日にKHV病によるへい死と診断されました。

3 報告内容

- (1) 8月8日に県四日市建設事務所職員が、四日市市水沢町字四ツ谷町地内を流れる鈴鹿川水系足見川においてへい死した2尾のマゴイを発見しました。
- (2) 同日、県四日市農林商工環境事務所環境室が現場確認をしたところ、死んだマゴイ2尾を確認し、回収しました。
- (3) 8月11日に県水産研究所にて、これら2尾のマゴイについて、KHV病の一次検査を実施した結果、同日そのうちの1尾から陽性反応を確認しました。
- (4) 陽性反応のあった1尾につき、独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所（南伊勢町）に確定診断を依頼していた結果が8月13日に判明し、KHV病と診断されました。
- (5) なお、県内でのKHV病発生事例は平成15年11月に四日市市で確認されて以来、今回が21例目で、本年度になってからは3例目となります。また、全国では平成15年10月に茨城県の霞ヶ浦で最初に確認されて以来、47都道府県で確認されています。

4 今後の対応方針

河川管理者と連携し、KHV病まん延防止に努めます。

また、河川からのコイの持ち出し及び放流の制限（市による地元自治会への説明並びに県が管理するホームページ等による周知）を行います。

5 参考

- (1) 感染経路については、今のところ不明です。
- (2) 本病はコイ特有の疾病で他の魚や人に感染することはないため、仮に感染したコイを人が触ったり、食べたりしても人体に影響はありません。
- (3) KHV病関連ホームページ
三重県農水商工部水産資源室ホームページ
<http://www.pref.mie.jp/SUKYOKYU/gyousei/koiherupesu/newpag1.htm>